

# 自民県政クラブ



自民県政  
クラブ会長  
染谷 清

新年明けましておめでと  
うございます。

県民の皆様には、「ご一家  
おそろいにて輝かしい新春  
をお迎えのことと拝察し、  
心からお慶びを申し上げます。

さて、昨年は、列車事故  
やアスベスト問題、はたま  
た耐震強度偽装事件や鳥イ  
ンフルエンザ、女兒殺人事

の開業には胸が弾みまし  
た。  
また、少子化対策は何よ  
りも急務です。あらゆる方  
策を講じて将来の茨城県、  
いや、日本を担う「人」を  
確保しなければなりません。  
三位一体改革の内容はも  
ちろんのこと、新年度予算  
の政府案を見ても八十兆円  
を割り込むきわめて厳しい  
ものとなっております。地方に  
おいてはこれまで以上に  
「選択と集中」に知恵を絞  
っていかねばなりません。  
本年もどうぞ、県議会の  
活性化、そして県民の目線  
で歩む自民県政クラブにご  
期待ください。

件等、県内外において「安  
全・安心」、とりわけ危機  
管理が問われる出来事が多  
い一年であった気がいたし  
ます。  
感動的な喜ばしいニュー  
スもなかつたわけではあり  
ません。紀宮清子さまのご  
成婚は言わずもがな、県内  
においても、全国植樹祭の  
成功やつくばエクスポレス

また、安全・安心な暮ら  
しを守るための施策、警察  
官の増員、とりわけ空き交  
番の解消、自警団の普及、  
道路環境の整備促進、高度  
医療の導入等を強力に推進

# 民主清新クラブ



民主清新  
クラブ代表  
長谷川修平

新年あけましておめでと  
うございます。

皆様には、それぞれの立  
場で希望に満ちた新年を迎  
えられたものと心からお慶  
び申し上げます。

昨年は、紀宮さまのご結  
婚、愛知万博の開催、本県  
では、全国植樹祭の開催、  
百里飛行場の起工式、悲願

二十一年TXの開業など、本  
県を全国に発信する明るい  
話題がありました反面、ア

スベスト関連死が続々と  
明るみに出たり、耐震強度偽  
装問題でも大揺れし、京  
都、広島、栃木において女  
児殺害が相次ぎ、本県でも  
鳥インフルエンザの発生な  
ど暗いニュースもあり、多  
事多難の年でもありまし  
た。  
さて、私たちは、人口減  
少社会を迎えるなか、本県  
の活力維持と安心・安全、  
人材の育成をめざし、県民

生活に新しい豊かさの感じ  
ることができ強い茨城づ  
くりに取り組んでおりま  
す。  
しかしながら、県政をと  
りまく潮流が、少子化に伴  
う人口減少、高齢社会の急  
速な進行、安心・安全志向  
の高まりや環境問題の顕在  
化、競争の激化と交流の拡  
大、価値観の多様化などか  
ら、その対応が必要であ  
り、去る十二月八日、知事  
に対し、四百四十二項目に  
及ぶ県政要望書を提出しま  
した。  
要望は、三位一体の改  
革、市町村合併の大幅な進  
展、さらに構造改革などに  
より、大きく様変わりして  
いることから、『新たな行  
政改革大綱』及び『財政

# 公明党



公明党  
茨城県議会  
議員団団長  
足立 寛作

新年を迎え、皆様には、  
晴れやかな日々をお過ごし  
のことと存じます。  
今年の干支は戌、過去を  
振り返りますと、内外に大  
きな事件が起こり、新しい  
歴史の胎動につながる節目  
となることの多かつた年の  
ようです。  
本格的な人口減少時代、  
超高齢化社会を迎える中  
で、財政難、激しい地域間  
競争などが拍車をかけて、

本県を取り巻く社会経済環  
境は、極めて厳しいものが  
あります。昨年の衆院選で  
示された民意は、一層の  
「改革」推進ですが、本県  
でも、さまざまな改革断行  
は、当面の急務です。  
年度内に策定される予定  
の行財政改革大綱に基づく  
改革、減損会計導入にあわ  
せた県出資団体改革などの  
改革を強力に推進し、二十  
一世紀に輝く元気でたくま

強い茨城、新しい茨城の歴  
史をつくるための、まさに  
「節目」の年にしなければ  
なりません。  
今年は、県政運営の指針  
となる新たな県総合計画の  
実施初年度に当たります。  
一方、三位一体の改革は、  
不十分ながらも地方の自由  
裁量が高まる方向で改革が  
進められております。この  
名実ともに変革期を迎え  
て、県政に求められる課題  
は、改革の着実な推進とあ  
わせ、将来にわたり県民の  
安心を確保するための道筋  
を明らかにすることです。  
私たちは昨年末、平成十  
八年度の予算編成に当た  
り、生活者の視点に立った  
総数八百三十三項目からな  
る予算要望を知事にいたし  
ました。その内容は、いば

# 日本共産党



日本共産党  
茨城県議会  
議員団団長  
大内久美子

清々しい気持ちで新春を  
迎えられたでしょうか。  
昨年は、「県政を変えて  
ほしい」と、明るい民主県  
政をつくる会に、多くの願  
いが寄せられました。  
そして、戦後六十年の節  
目の年、戦争をする国にし  
てはならないと、平和憲法  
を守る運動が広がりました。  
百里基地への米軍機訓練  
計画をやめさせようと、立

場の違いをこえたとりくみ  
がすすんでいます。  
今年も、くらしや平和、要  
望実現のため、多くの方と  
力を合わせてまいります。  
日本共産党は昨年十一  
月、五百項目の予算要望書  
を県知事に提出しました。  
子育て支援として、就学  
前まで引き上げられた医療  
費助成の完全無料化に力を  
つくします。  
通学路の安全対策、保育

所増設、学童保育の充実な  
ど求めています。  
自治体本来の仕事は「福  
祉の向上」です。ところが  
「官から民へ」と、崩され  
ようとしています。  
県立の三つの病院の民間  
委託や、福祉施設の切り捨  
ては、やめさせなければな  
りません。  
介護保険と障害者の住宅  
サービス利用は全国最低で  
す。特養ホームの増設やデ  
イサービスなどの基盤整備  
に特別な支援が必要です。  
青年の半数が派遣、パー  
トなど不安定雇用です。福  
祉、教育など公的な分野で  
の必要な人員確保は重要課  
題です。  
そのために、常陸那珂  
港、百里の共用化、霞ヶ浦

らぎブロードバンドネット  
ワークの活用を促進し  
て、県内各地域の情報格差  
をなくすこと、県事業の見  
直しを行う「事業仕分け」  
制度の導入を検討するこ  
と、長期短期両面からの医  
師不足対策に取り組むこ  
と、「少子対策課」などを  
設置し、総合的な少子化対  
策を促進すること、学校が  
家庭や地域社会、警察との  
連携を密にして、幼児・児童  
・生徒の登下校も含めた安  
全確保対策に万全を期すこ  
となどですが、いずれも県  
民の各界各層からの要望・  
意見を集約したものです。  
その一つひとつに丹念に  
取り組み、豊かで活力のあ  
る県土づくりに、全魂込め  
て努力を続けてまいります。

導水事業など、税金のムダ  
遣いを改めることです。  
公共事業は、築四十五年  
の友部病院や児童・婦人相  
談所の保護施設、教育施設  
の改築など、生活密着型へ  
の転換を強く求めます。  
老朽化が著しい東海第二  
原発の安全対策、プルサー  
マル計画はやめるべきで  
す。  
企業を呼び込むための工  
業団地は莫大に売れ残り、  
産業政策の行き詰まりを示  
しています。  
農業、商業、林業など地  
元の資源を生かした、地産  
地消、地域再生に本格的に  
とりくむ時です。  
唯一の野党として、希望  
のもてる県政に引き続きと  
りくんでまいります。

通学路の安全対策、保育